

2021年6月19日と20日に美浜町内3,669世帯中、約3,400世帯にアンケートを配布し、7/10までに郵送で215通回答がありました。

年齢では70才以上が47%、性別では59%が男性の方でした。

質問3で、原発に対する考え方として、「必要」が20%、「どちらかという必要」が17%で、必要と考えておられる方が37%、「どちらかという必要だと思わない」が24%、「必要だとは思わない」が30%で、不必要と考えておられる方が54%でした。

質問4で、福島原発事故後、「どちらかという反対すべきと思うようになった」が23%、「反対すべきと思うようになった」が38%、反対すべきと思うようになった方はあわせて61%でした。ただ、以前より反対と思っていた方で「変わらない」と回答された方もおられるため、反対と考えておられる方は61%よりも多いと思われます。

質問5で、福島原発事故後、美浜原発が長く運転停止していた影響について、「影響を受けていない」が70%ですが、「経済的損失を受けた」が13%、「どちらかという損失を受けた」が11%、あわせて24%の方が影響を受けておられました。

質問6で、40年を超えて美浜3号機が再稼働しようとしている事について、「不安」が47%、「どちらかという不安」が24%で、あわせて71%の方が不安に思われています。

質問7で、どのような点が不安かとの問い（複数回答）で一番多かったのが「交換不能な原子炉容器がもろくなっている」で120人、「使用済燃料が溜まる」が119人、古い配管や電線にも交換していない部分があるが96人、「長く運転が止まっていて、慣れた運転員がいなくなっている」が59人でした。その他として多くの回答がありましたが、原発に賛成で必要と思っている方でも、不安に感じておられる方がおられました。

質問8、テロ対策施設が未整備のため10月25日までに停止する必要があり、完成する2023年春ごろまで動かさない可能性があることについて、「テロ対策施設が完成してから再稼働すべき」20%、「再稼働すべきでない」50%で、「規則通り稼働すればよい」22%よりはるかに多いことがわかりました。

質問9、避難計画について知っているものについての問いでは、おおい町か大野市に避難することについて139人が知っておられました。次に、震度5弱を超えた地震時には高速道路が通行止めになることも81の方が知っておられました。避難先の体育館で1人に与えられる面積が1.65㎡しかないこと、避難先にいられるのは2ヶ月程度であることについては20数名程度しか知られていませんでした。また、全く知らないという方が複数人おられ、「知らされていない」と驚愕されている方もおられました。

